



福祉のまちづくり事業
海外の福祉から学ぶ

予約制

第5回

福祉NET

開催日 2018年7月21日(土)

時間 10:00~11:30 **受講費** 500円

会場 静岡県男女共同参画センター

あざれあ第2会議室 (静岡駅から徒歩10分)
静岡市駿河区馬淵1丁目17-1



「あるもの」から考える ケニアの療育事業 ~シロアムの園から~

講師 公文 和子 医師

「何も持っていない」と思われて生きている障がい児たちの中に素晴らしい宝を見出した講演者が、子どもたちとの関りの中で、「ないもの」から「あるもの」に目を向ける医療や療育の在り方を考えていく。完全ではないものの、制度が整い、医療・教育・福祉の分野で行政が働き、必要な医療器材や薬剤の多くが手に入る日本とは異なり、「ないない尽くし」のケニアでの医療。講演者は、ケニアにおいて12年強、様々な保健医療分野の仕事に関わった後、ケニアの障がい児のための療育事業を3年半前に開始した。障がい児をめぐる環境は、更に「ないない尽くし」で劣悪である。障がい児を予防するようなシステム(特に分娩や新生児ケア)は不十分、医療や教育の専門家の数は限られ、福祉や社会保障は、皆無に近い状況。コミュニティにおける差別・偏見は日本のレベルとは異なり、いまだに、多くの子どもたちが家の中に隠されて生活している。そのような環境で、「何も持っていない」と思われて生きている障がい児たちの中に素晴らしい宝を見出した講演者が、子どもたちとの関りの中で、「ないもの」から「あるもの」に目を向ける医療や療育の在り方を考えていく。

【略歴】1994年、北海道大学医学部を卒業後、北海道大学小児科医局入局。北海道大学医学部大学院で学位取得後、さらにリバプール熱帯医学校熱帯小児医学修士取得。東チモール、シエラレオネ、カンボジアでの病院勤務を経て、2002年より現在まで、ケニアで医療活動を行っている。

16年間在住するケニアでは、JICA(国際協力機構)専門家・非政府非営利団体の活動などを通して、HIV分野の人材の育成、コミュニティや医療施設におけるマラリア・HIV・結核対策、日本政府とケニア国保健分野への協力・他ドナーとの調整、保健システム強化、小児臨床などさまざまな分野で活動を行った後、3年半前に、ケニアの障がい児のための療育事業「シロアムの園」を設立。

後援：静岡県ボランティア協会



お問い合わせ 福祉研究会 MAHARO

ご予約は earthstar@e-mail.jp <http://maharo.org/> 070-5253-1262